

職員組合ニュース

〒606-8317 京都市左京区吉田本町 TEL: 761-8916 内線: 7615 FAX: 751-8365 URL: <http://www.kyodai-union.gr.jp/> Email: office@g.kyodai-union.gr.jp

京都大学 **監事体制** の問題点

職員組合からの問題提起と対策の提案

【問題の気づき】

近年、京都大学の職員組合には多くの相談が寄せられ、その中にはハラスメント案件も少なくありません。学内でもハラスメント対応体制は設けられていますが、部局におけるハラスメント相談窓口はしばしば相談者と利害相反の関係にあり、職員組合が第三者通報という形で全学組織のコンプライアンス部（旧公正調査監査室）に繋ぐ案件も見られます。しかし、コンプライアンス部に寄せられる問題の件数が多いためか、レスポンスが鈍く、結果として相談者が放置状態になる事案が発生しています。

職員組合としては、団体交渉要求でハラスメント相談体制の強化を求めるとともに（2025年2月10日交渉）、京都大学の監事に対してもハラスメント対応事案が滞っていることについて、京都大学法人に対して改善指示を求める要請書を提出しました（2024年9月18日）。しかし、この職員組合の要請に対して監事支援室からは「監事は個別の事案について監査や調査をするものではなく、他者からの要請によって監査や調査をするものではない」との回答が示されました。

職員組合はこの回答を訝しく感じ、「京都大学監査監事規程」を確認しましたが、同規程には監査・調査対象から個別事案や他者通報を排除する

定めはありませんでした。このことから、職員組合は、ハラスメントなどの学内問題の対応機構全体に目詰まりが生じていると問題意識を持ち、監事体制の現状について調査を試みました。その結果、現在の監事体制は、学内問題を公正に対応し得ない構造になっていることが見えてきました。

【問題の概要】

職員組合が監事に対応する部門とその周辺の部門や人事配置を調べてみたところ、内部統制室長と監事支援室長と不正調査室長を同一人物が兼務していることが判りました。監査する側と監査される側の責任者が同一人物で、監事支援室が内部統制室と同じ部内・執務室内にあり、監査の独立性に疑念を抱かざるをえません。こうした体制の下では監査機能の形骸化や利益相反のリスクが高く、不適切な運営が見逃されるおそれがあります。

監事支援室は本来、監事の独立した監査活動を支援する役割を担うべきものですが、内部統制室の影響下に置かれていては適切な監査が行われているとは考えられません。この状況下では、監査機能が適正に機能せず、万が一不正や問題が発生した場合でも、調査や是正が適切に行われるかどうか不透明です。

【職員組合の改善提案】

職員組合は、現行の監事体制の問題点を改善するために以下の提案を行います。

- 監事支援室の独立化：監事支援室を内部統制室から完全に独立させ、監事の独立した監査活動を支援する体制を整えること。
- 監査体制の強化：監査機能の独立性を確保し、利益相反のリスクを排除するための制度改革を行うこと。
- ハラスメント対応体制の強化：ハラスメント相談窓口の独立性を確保し、相談者が安心して相談できる環境を整備すること。

職員組合は、これらの提案をもとに、京都大学法人に対して監査体制の改善とハラスメント対応体制の強化を求める活動を続けていく予定です。監査体制が適切に機能することで、学内の公正な運営が保障され、全職員が安心して働ける環境が実現されることを求めます。

京都大学職員組合

組合費

半額

キャンペーン

いま加入すると2026年7月まで半額

京大には
職員組合
がある

京都大学職員組合 加入申込書

申込日 年 月 日

ふりがな 性別 生年月日

所属部局： 部署：

職種／職名： (例：教員／准教授)

雇用形態： 常勤 有期雇用 時間雇用 再雇用 その他 ()

組合費： 給与控除 (通常はこちら) 給与控除以外の徴収法を希望 ()

E-mail： @

あなたも組合に！

加入申込

www.kyodai-union.gr.jp/join



ご記入頂いた事項は「個人情報
の保護に関する法律」を遵守
し、組合活動情報のご提供、組
合費徴収などの事務のために適
切な取り扱いをいたします。

連絡先

京都大学職員組合 事務所

〒606-8317京都市左京区吉田本町

TEL：075-761-8916

FAX：075-751-8365

内線：7615(本部地区)

Email：office@g.kyodai-union.gr.jp

URL：<http://www.kyodai-union.gr.jp>